

はちまんたい議会だより

ギカイのひろば

No. 73
2023年(令和5年)
11月9日



東慈寺本堂で 七五三お祝い

— 東慈寺保育園 —

主な内容

- 9月定例会…………… P 2
- 4年度決算…………… P 5
- 一般質問(10人)…………… P 7

9月定例会

●会期 9月11日～10月2日(22日間)

畜産飼料高騰対策支援 4,200万円を含む補正を可決



9月定例会議案採決(議案第6号。原案)

報告	2件
市長提出議案	17件
請願	2件

【議案第1号】 人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて

全会一致で新たな 人権擁護委員決定

八幡平市の区域における人権擁護委員である遠藤友子氏は、令和5年12月31日をもって任期が満了するため、新たに松浦淳二氏を推薦しようとするものです。

【議案第6号】 令和5年度八幡平市一般会計補正予算(第4号)

3億1879万円 増額の補正予算

歳入、歳出それぞれ3億1879万9千円を増額し、総額191億8552万8千円とするもので、主なものは次のとおりです。

- ▼西根総合支所移転先改修工事 4800万円(増額)
- ▼畜産飼料高騰対策支援補助金 4200万円(増額)
- ▼債務負担行為補正 19億9800万円(追加)
- ▼(仮称)大更駅前顔づくり施設建設工事(6年度～7年度)

※債務負担行為とは、将来にわたる債務を負う契約を結ぶことです。

【議案第6号】 令和5年度八幡平市一般会計補正予算(第4号)に対する修正動議

駅前顔づくり施設 修正動議を提出

発議者Ⅱ高橋悦郎議員、古川津好議員、賛成者Ⅱ工藤直道議員(仮称)大更駅前顔づくり施設建設工事および(仮称)大更駅前顔づくり施設建設工事監理業務に係る債務負担行為補正について、市の財政運営で20億円を超える債務負担行為を補正予算に計上することは異例であり、内容説明も不十分な上、この事業の最大の目的である大更駅周辺にぎわいづくりの具体的構想も不十分である。また、当初の計画にはなかった図書館の整備が予定されているが、図書館のデジタル化が急激に進展している中、その対応策が不十分で大更駅前に移転する根拠も明確でない。事業を進めるに当たり、市の財政負担が極めて大きいこと、それによる市民の暮らしを守るインフラ整備や産業振興などへの影響が懸念されることから、当該工事および監理業務を削除した修正案を提出しようとするものである。

※修正動議とは、市が議会に提出した議案に対し、原案の内容の修正・変更を求めることです。

討論(令和5年度八幡平市一般会計補正予算(第4号)原案について)

【反対討論】 工藤 多弘 議員

まず初めに、子育て支援のための施設整備を兼ねた大更駅前顔づくり施設の建設について、反対ではなく、併設される図書館の移転に反対の立場である。各地の図書館では、図書のデジタル化が急速に進んでおり、ハードの建物より、そちらのソフトの対応を急いで進めるべきであると考えている。さらに、市立図書館が大更駅前に移転しても、にぎわいの創出に結び付くとは限らない。何より、この事業をこのまま進めると建設工事費、設計管理費、備品購入費の合計が約24億円である。今後、物価高で工事費が増額した場合は、市の財政負担がもっと大きくなる事が懸念され、この影響により、市民が求めている道路整備や産業振興などへの影響も心配される。このことから、(仮称)大更駅前顔づくり施設建設工事および(仮称)大更駅前顔づくり施設建設工事監理業務の債務負担行為補正を追加することについては、反対である。

【請願第2号】 旧安代老人憩の家屋内ゲートボール場の使用を求める請願

当該施設の使用は できないと判断

不採択すべきものと決定

産業民生常任委員会では詳細な調査が必要と判断し、現地視察を行った結果、当該施設の屋根には無数の穴が開き、窓ガラスや壁が雪に圧迫され破損している危険な箇所が多く見受けられた。除雪もままならず、冬場の雪害が深刻である。また、骨組みの鉄骨部分は耐用性がありそうだが、修繕に多額の費用がかかることは明白である。なお、当該施設は取り壊し対象施設であるため、市では修繕を行わないとのことである。隣接する旧安代老人憩の家は廃虚となっており、付帯施設としての当該施設も市の計画に基づき早急な解体処理が必要である。それらを踏まえ、当該施設をそのまま市民に貸し出しをすることは大変危険であり、市民の安心安全を守るという観点からしても無責任と思われる。よって、ゲートボール愛好者の心情に配慮する声もあったが、施設の使用はできないものと判断した。

討論(旧安代老人憩の家屋内ゲートボール場の使用を求める請願)

【賛成討論】 齊藤 隆雄 議員

旧安代老人憩の家屋内ゲートボール場は、市内唯一の冬期間でも地面上でプレーできる貴重な鉄骨構造の施設である。市公共施設再編計画では、旧安代老人憩の家は廃止、併設の屋内ゲートボール場は廃止に向け、関係者と協議を進めるとある。確かに老人憩の家は、平成27年に条例廃止となったが、この廃止がゲートボール場廃止の根拠とはならない。なぜならば、当該施設は市の了解の下、令和4年まで利用しており、市も廃止の認識ではなかったと思われる。屋内ゲートボール場は、高齢者の生きがい、健康づくり、楽しみの場となっており、この請願は利用者から今後3年間使用させてほしいという切実な声と旧安代町の首長を含む、100名の賛同署名も添付されている。市民から議会への請願であり、議会の真価も問われている。使用を認めるべきと判断し、賛成討論とする。

【請願第3号】 市道岩屋・岩木線改良に関する請願書

市道岩屋・岩木線 改良の請願を採択

現在の市道岩屋・岩木線は両集落間がつながっておらず、行き止まりとなっているため、接続道路の設置をお願いしようとするものです(請願者Ⅱ市浅沢地域振興協議会会長齋藤政四郎)。

県の安比川河川改修事業による管理用道路計画に、市道幅をプラスして維持管理が十分行えるよう整備していただきたく、また市からも本計画が早期着工されるよう県に対しての要望・協議をしていただきますようお願いいたします。

【議案第17号】 教育委員会の教育長の任命に関し同意を求めることについて

教育長の人事案件 全会一致で同意

教育委員会の教育長である星俊也氏は、令和5年11月14日をもって任期が満了するため、再び同人を任命しようとするものです。

4年度 決算

一般会計・特別会計合計で 236億1,338万円を支出

税金がどのように使われたのか—令和4年度の決算は、9月15・19・20・21・22・25・26・28日の8日間、決算特別委員会を開催し、審査しました。同委員会では一般会計と2特別会計、3企業会計を原案のとおり認定すべきものと決定。第3回定例会最終日の10月2日に本会議で全ての決算が認定されました。

令和4年度各会計の決算額				
会計名	歳入(収入)	歳出(支出)		
一般会計	208億6,695万1,505円	202億2,548万7,055円		
特別会計	国民健康保険	30億8,064万3,349円		
	後期高齢者医療	3億1,209万2,131円		
	小計	33億9,273万5,480円		
企業会計	水道事業	収益的	5億3,774万8,627円	4億9,533万9,986円
		資本的	1億9,932万7,235円	4億9,491万3,123円
	下水道事業	収益的	11億4,073万3,222円	10億3,711万4,948円
		資本的	4億1,072万4,606円	8億5,124万1,762円
	病院事業	収益的	17億4,467万106円	16億3,861万7,307円
		資本的	2億3,706万8,000円	2億4,079万5,096円

Q 事業者の入湯税の滞納については、何らかの対策を講じるべきでは。経営状況から、支払いが困難な状況が続いていると認識している。県の滞納整理機構と相談して、対応を検討している。

A 【委員会の意見】入湯税は、利用者からの預り金であるため、確実に納入するように指導を強化すべきである。

Q 公共施設の取り壊しについて、市有財産整備基金を利用し、解体を大幅に前倒ししてはどうか。

A 市有財産整備基金の充当は可能だが、優先順位を決めて取り組んでいかなければならないと捉えている。

Q 【委員会の意見】計画に基づくだけでなく、優先度を含め、その都度見直し、具体案を議会に示すべきである。

A 婦人消防協力隊から、さまざまな不満の声があるが、把握しているか。任命が強制的である、演習が体力的にきつい、報酬がない、女性蔑視であるなどといった声があることは承知している。今後、対策を考える。

Q 【委員会の意見】自主防災の意識の向上とジェンダーギャップ(男女格差)がない組織の構築を望む。

A 西根・松尾地区の中学校の統合について今後どのように進んでいくのか。

決算特別委員会の主な質疑と意見

討論(令和4年度八幡平市一般会計歳入歳出決算認定について)

【反対討論】 高橋 悦郎 議員
反対の主な理由は、大更駅前顔づくり施設実施設計委託料、1億3900万円が令和4年度予算に計上されたからである。今決算議会での議論の中で、施設建設の目的とその効果が明確に示されなかった。また、この施設を建設することで、今後の市の財政運営が硬直化していくことが懸念される。この施設建設では、国の補助金や交付金が該当しないとの説明であった。主な財源は、基金と元

利償還時の地方交付税算入率30%である市の負担が大きい起債を使うことも明らかになった。自治体の財政構造の弾力性を表す指標に、経常収支比率があるが、70%から80%が理想と言われているが、当市の令和4年度は97・6%で自由に使える一般財源は大きく減少している。この状況の中で「大更駅前顔づくり施設」の建設を進めていけば、市民生活に必要な予算配分ができなくなると言わざるを得ない。以上、反対討論とする。

【賛成討論】 田村 正元 議員
賛成理由として、一般会計予算額215億4千万円、歳入決算額208億6千万円で収入率96・9%、歳出決算額は、202億2千万円、執行率93・9%、財政状況は各財政指数の数値から、おおむね良好な状況にあると認められる。各事業とも第2次八幡平市総合計画後期基本計画に沿って、時に応じた修正を加え適切に執行されたものと考えられる。歳入の市税収入率は89・6%と低下が問題

視されるが、適切な徴収計画を示しており、改善することを評価する。歳出は、各事業とも本決算特別委員会で、内容について精査したことも踏まえ、市民生活に寄与できる施策が実施されていると考える。また、大更駅前開発や学校再編計画など、今後の市民生活に影響を与える事業があるため、より一層、施策の精査を適切に行い、市の均衡ある発展に努めることを期待し、本決算内容が総合的、包括的に適正であると判断する。

令和5年第3回定例会 賛否の分かれた議案の採決結果

議案名	議員名(会派名)																		議決結果
	1 外山 一則 (八 起 会)	2 田村 正元 (八 起 会)	3 齊藤 隆雄 (日本共産党)	4 関 治人 (八 起 会)	5 羽沢 寿隆 (八 起 会)	6 工藤 多弘 (松 西 会)	7 勝又 安正 (八 起 会)	8 北口 功 (無 会 派)	9 欠 席	10 熊澤 博 (自由クラブ)	11 立花 安文 (八 起 会)	12 渡辺 義光 (市民クラブ)	13 工藤 直道 (自由クラブ)	14 古川 津好 (松 西 会)	15 高橋 悦郎 (日本共産党)	16 高橋 光幸 (市民クラブ)	17 井上 辰男 (八 起 会)	18 工藤 隆一 (八 起 会)	
議案第6号(修正案)	●	●	○	●	●	○	●	●	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	修正案否決
議案第6号(原案)	○	○	●	○	○	●	○	○	○	欠席	○	○	●	●	○	○	○	○	原案可決
議案第11号	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
請願第2号	●	●	○	●	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択

※賛成=○、反対=● 工藤隆一議長は採決に加わりません

一般質問

質問した事項

- 渡辺 義光 議員 (市民クラブ) ……07**
 - ・市民憲章唱和と市民歌斉唱の啓発と実践について
 - ・八幡平旅情の普及とPR活動について
 - ・ごみの不法投棄禁止のミニ鳥居とのぼり旗の効用について
- 工藤 直道 議員 (自由クラブ) ……08**
 - ・大更駅周辺及び隣接地域のまちづくり環境整備について
 - ・学校給食費の負担軽減について
 - ・雨水等災害時の避難対策について
- 羽沢 寿隆 議員 (八起会) ……08**
 - ・コロナ禍脱却後における観光資源の活用と商工業振興対策について
- 外山 一則 議員 (八起会) ……09**
 - ・今後の盛岡広域連携について
 - ・にぎわい創出のイベントについて
 - ・第一次産業の所得向上について
- 井上 辰男 議員 (八起会) ……10**
 - ・里山の荒廃による課題と対策について
- 古川 津好 議員 (松西会) ……10**
 - ・公共施設再編計画について
 - ・敬老会について
- 熊澤 博 議員 (自由クラブ) ……11**
 - ・酪農・畜産の経営危機への対応について
 - ・就学援助の在り方について
- 工藤 多弘 議員 (松西会) ……12**
 - ・(仮称)大更駅前顔づくり施設および大更駅周辺開発について
 - ・営農振興支援について
- 齊藤 隆雄 議員 (日本共産党) ……12**
 - ・敬老事業について
 - ・鳥獣対策について
 - ・ごみ処理広域化とごみの分別・減量について
- 高橋 悦郎 議員 (日本共産党) ……13**
 - ・大更駅前周辺開発について
 - ・介護保険について



わたなべ よしみつ
渡辺義光 議員



問 大更コミセン主催の「住民と市議会議員のフリースピーキング」が8月4日開催され、市民45人、地区議員5人が出席した。「市民憲章や市民歌をまちづくりの指針として市民、行政一体で活動を強化してはどうか」などの提言があった。

市長 市民憲章は八幡平市の歴史や風土を踏まえ、平成18年11月3日に制定。市民の郷土愛の醸成とまちづくりへの参加意欲を促し、全市民が将来像「農と輝の大地」の実現を目指している。市民憲章唱和運動や市民歌斉唱の啓発に努める。

問 社会科副読本に市民憲章と市民歌が掲載されている。唱和や合唱の指導、校内に看板設置の考えは。

教育長 児童生徒が市民憲章や市民歌を学び地域に対する理解や愛着を持つよう育成に努力する。今後、全校に看板掲示を進めたい。

八幡平旅情を歌う

問 星野哲郎さん作曲、民謡日本一の漆原栄美子さんが歌う旧松尾村ご当地ソング「八幡平旅情」の啓発は。

市長 市ふるさと大使の漆原さんが、市・県内外のイベントで広く紹介している。

ミニ鳥居の監視力

問 国道282号安代地区のごみ不法投棄の現場にミニ鳥居が数基設置された。現在、ごみは皆無である。

市長 不法投棄者の心理的効果を狙ったもので効果がある。取り組みの参考にしている。



八幡平市市民憲章(田頭コミセン)

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



統合が慎重に検討されている西根地区の2校
(上:西根第一中学校 下:西根中学校)

A 統合検討委員会を今年の8月上旬に開催し、配置計画の内容と方向性の説明を行った。統合校の建設場所の具体的な要件は10月中旬に決定する予定である。また年度末に予定している委員会で具体的な建設場所まで決められればと考えている。

Q 「委員会の意見」統合校建設により、3校(西根中、西根第一中、松尾中)が空き施設になることから、解体費用も考慮し、総合的に進めるべきである。

A 今の図書館は、障がいがあるなど体の不自由な方に対して、どのような対応がなされているか。

A 障がいがある方が利用しやすい施設整備は、できていないのが実情である。

Q 「委員会の意見」障がいがある方も利用しやすいように対応した図書館にするべきである。

Q 都市計画道路大更駅前線土地区画整理事業用地土壌改良業務は、クリーニング店跡地の土壌改良と聞いたが、工事内容は地下水をくみ上げて酸化させ、活性炭に有害物質を吸着するという処理である。

A 「委員会の意見」多額の費用を要していることから、いつまでかかるか、どれくらい土壌汚染の影響があるかなど、議会で詳細を説明してほしい。場合によっては、住民説明会も必要ではないか。

Q 年間11頭上限という当市の熊の駆除頭数は県が決定したようだが、その決め方は県へ問い合わせたが、公開していないとの回答だった。山林の面積を参考に決めているのではないかと推測している。

Q 「委員会の意見」熊の被害が多く見受けられている。市民から不安の声もあるため、熊の駆除頭数の上限をもっと引き上げるように県へ要望してほしい。

Q ため池について、用途廃止により市に移転登記されるような箇所はあるか。

A ため池には、農業用水の供給の目的のために活用されているものと、供給の役割を終えているものがある。ため池ごとに今後の見通しを立て、必要なものは、機能強化をし、役割を終えたものは、用途廃止と判断していく。

Q 「委員会の意見」ため池のほとんどは、役割を終えたものとして廃止されると思われるが、廃止した跡地の活用について検討すべきと考える。



多くの児童が集う大更児童保育クラブ

Q 市独自の带状疱疹ワクチン接種助成について、検討はしているのか。

A 国では、定期接種化の議論をしている。今後、情報を見極めていきたい。市独自の助成については、検討していない。

Q 「委員会の意見」命に関わる場合もあるので、早期に助成を検討するべきである。

A 昨年度、大更児童保育クラブで定員以上の申し込みがあり、入所できない児童がいたと聞いた。状況は把握しているのか。

A 大更児童および大更第二児童で定員を上回る申し込みがあったことは聞いている。入所できなかった児童については、大更小学校からスクールバスを利用し、空きのある東大更児童で対応している。

Q 「委員会の意見」近隣施設の活用をし、大更児童保育の定員を増やす検討をするべきである。



くどう なおみち 工藤直道 議員



(自由クラブ)

大更駅周辺の未着手事業

財源確保に努め整備推進



大更駅東地区の事業計画予定地

問 駅東地区整備計画案では、文化施設の集積方針があったが検討していくのか。
市長 文化施設については、当初の計画地が市立病院の駐車場となり、用地が残っていない状況である。八幡平市文化芸術推進計画を策定し、ソフト・ハード両面

の施策を審議する。
問 住宅団地、公園の配置計画に変更はないのか。
市長 民間活力を導入した住環境整備計画である。都市計画マスタープランの見直しにおいて検討する。
問 市道松子線道路整備と松子踏切拡幅の進捗状況は、

建設課長 周辺に住宅なども建ち、交通量も増えていると認識している。後藤川ほ場整備に係る森子踏切の新設を優先して概略設計を行い、JＲと協議していく。
給食費の負担軽減

問 物価高騰などによる保護者の負担軽減と子育て環境充実が重要と考える。多くの自治体では地方臨時交付金などを活用し学校給食費負担軽減を行っているが、
教育長 物価上昇による増額分については、保護者負担は考えていない。市が負担し、支援を図っている。

災害時の避難対策
問 災害時に自力で避難が難しい高齢者などの個別避難計画の作成状況は。
市長 避難行動要支援者数は、令和5年7月末市全体で3051名、作成数は大更地域で163件である。



はざわ ひさたか 羽沢寿隆 議員



(八起会)

貴重な鉄道資源の活用は

旅行商品の造成に努める



荒屋新町駅扇形機関庫と転車台

問 JＲ花輪線が赤字続きで存続の危機に陥っている。荒屋新町駅の扇形機関庫と転車台は、現存する貴重な鉄道遺産でもある。観光に役立てられるようにJＲと協議を進めてはどうか。
市長 JＲが令和3年に観光イベントを行い、大盛況

であったが、経費がかかりその後は行っていない。引き続き協議を続けていく。
観光復活の見通し
問 コロナ禍も明け、これから本格的な観光立市を目指していく上での戦略的かつ効果的な施策は、

市長 第4期八幡平市観光振興計画に基づき9の施策と18の具体的アクションを積極的に推進していく。
問 大更駅前のにぎわいを創出するために、コンテナショップやキッチンカーなどで飲食街を作ってはどうか。土地付きの店舗出店

よりは参入しやすいのでは。
市長 さまざまな支援策を打ち出し、令和6年から分譲を予定している。説明会を開くなど出店者の意向を聞きながら対処する。
問 全国半数近くの自治体

において商業振興条例が定められている。連続性を担保する上でも検討しては。
市長 今までも商工業振興には手厚く支援してきた。その時々財政的状況からも鑑みると、義務的な制約のない倫理的なもので議会側で整備していただきたい。



そとよまかずのり 外山一則 議員



(八起会)

農業者の現状打破へ英知

情勢を注視しながら対応



厳しさが増す農業経営

問 農家を救済するための支援を県や国に早急に求めるべきと考えるが、要望は上げているのか。
市長 当市単独では、畑地化交付金の財源確保などは政党要望などで行っている。現状での大きな問題に関しては岩手県市長会として、

県内14市の総意のもとに昨年度から県市長会要望として取りまとめ、国や県に要望を上げている。
問 農業者が、ふるさと納税の返礼品提供事業者として活躍することは、所得向上につながると考える。今後、農産物の返礼品開拓の

ための勉強会が必要と考えるが、見解を伺う。
市長 農産物返礼品拡大が課題である。勉強会なども検討しながら返礼品提供事業者の開拓に一層取り組む。
問 地域商社のような、当市の農産物を市内外に売る体制が必要と考えるが、

市長 地域商社的な役割の立ち上げは喫緊の課題。金融機関などとも協議をしながら、窓口の一本化を図っていきたくと考えている。
八幡平ふるさと花火まつり会場
問 会場を西根、松尾、安

代の各地区持ち回り開催はできないのか。
市長 周辺道路への影響、駐車場の収容台数の確保、飲食屋台やイベントスペースの確保などを考慮すると、現在の松尾総合運動公園が最適であり、持ち回り開催は難しいと捉えている。

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



井上辰男 議員 (八起会)



里山の荒廃が及ぼす影響

周辺環境の改善が重要



明るい里山「平館ひょうたん池」

問 里山は、古くから日常的に人が立ち入り、植林と除間伐、山菜やキノコ採りなどを行ってきた。それにより緩衝帯となり、野生動物も人里に降りてこなかった。また、管理された里山には多種多様な草花が咲き、昆虫採集など、子どもの遊

び場でもあった。しかし、近年、里山の荒廃により野生動物が人里に接近する機会が増え、農作物や人身被害も増えている。放置された里山は、日光も届かず希少な山野草も育たない。土壌の保水能力も低下し、災害が起きやすくなるばかり

でなく、見通しが悪く、人の目が行き届かなくなった里山には、ごみなどの不法投棄が横行するようになった。今後の対策を伺う。

市 耕作放棄地の伐採や刈払いを行い、明るく見通しのよい空間づくりが鳥獣とすみ分けられ、有害鳥獣

の出没や農林業への被害防止も図られることから、周辺環境を改善することが最も重要である。



古川津好 議員 (松西会)



なぜ解体ゲートボール場

請願前から解体予算措置



解体が急がれる焼却場などの建物

問 市の公共施設再編計画で掲げられている、旧田山中学校などの廃止対象施設の解体は、今後どのように進めていくのか。

市 総合計画の3年ごとの実施計画で、施設の経過年数や危険度などを勘案して計画的に解体したい。

問 ごみの広域処理化により、将来市内に2つの稼働しない焼却場を持つことになる。アスベストの問題もあるが、早く解体を進めべきと思うが、どのように考えるか。

市 早い時期に解体すれば廉価に済んだが、現在は解体費が高額となっている。盛岡広域での稼働まで10年以上の時間があるので、早い段階で取り壊したい。

問 閉鎖通知を出した安代の屋内ゲートボール場をあと3年使用させてほしいとの請願にかつて町長を務められた方も連署されている。このような方の思いをどのように受け止めているか。



熊澤ひろし 議員 (自由クラブ)



繁殖育成センターの利用

預託牛の頭数は238頭



生みの親より育ての親

問 和牛の子牛は1頭売ると20万円の赤字である。6月分の乳価は123円で、生乳1kg当たり30円の赤字である。生産費は高騰を続けており、国へ支援の要請が必要ではないか。

市 新岩手農協が指定管理者で、8名の職員体制で運営している。肉牛が142頭、乳牛は96頭で計238頭となっている。本年度末の預託数は、肉牛318頭、乳牛201頭の519頭を目標に設定している。

問 牛の尻尾の毛根検査によるゲノミック評価で、将来の能力が判明する。市の助成で普及させるべきでは。

市 和牛子牛の補給金制度や和牛生産者臨時経営支援事業で、ブロック別の価格が全国平均を下回った場合、差額の4分の3を補填し支援するようだが。

問 児童生徒を持つ経営危機に瀕する農家への就学援助制度の周知徹底は。

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



くどうたひろ 工藤多弘 議員

(松西会)



市民が納得できる理由は 市外からも多く人が来る

問 多額の税金を投入し施設を造らなければいけない「市民が納得できる理由」と施設ができることにより大更駅前がにぎわう根拠は。

それにより、市民の皆さんにも利益が出てくる。
問 前回の教育長答弁で新図書館は大更小、西根中の児童生徒が帰りに寄り、子どもたちにとって喜びであるとあった。例えば、安代方面で花輪線を利用する場合、荒屋新町から片道40分

運賃590円、本数も少ない。それを踏まえれば現図書館を充実するべきでは。
教育総務課長 新図書館になった場合、今より不平等になるとは思っていない。駅を利用すれば、本数は少ないが今よりも遠隔の場所に住んでいる子どもたちも

利用しやすくなると思う。
宮農振興支援策は
問 生産資材の価格高騰に対する市独自の支援対策は。

市長 ワンストップで相談受付できる就農相談会などを実施している。国の補助要件に合わない経営継承の方に対しては、市が支援する方向で関係機関と連携を図りながら検討する。



(仮称)大更駅前顔づくり施設予定地



さいとうたかお 齊藤隆雄 議員

(日本共産党)



有害鳥獣による被害状況 熊の人身被害が4件発生

問 今年の被害状況を伺う。
市長 通報件数は、昨年の2・1倍で221件である。ツキノワグマの人身被害が最新で4件、農作物被害が30件、イノシシの農作物被害が13件などとなっている。

市長 県では、推定個体数を管理計画に明示しておりツキノワグマ県内約3700頭、シカは10万頭、イノシシの生息頭数は不明である。市内の野生鳥獣については、把握できていない。
問 被害防止への今後の対策を伺う。

市長 有害鳥獣捕獲業務は市猟友会へ委託している。農畜産物など被害防止電気柵設置への補助や市鳥獣被害対策実施隊の隊員確保のため、狩猟免許の新規取得費補助金を継続し、人身被害の防止、農林業被害の減少に努めていきたい。

ごみ減量の重要性和成果の掲載
問 ごみの減量の取り組みや成果などを広報などで紹介してはどうか。
市長 令和4年度1人1日当たりのごみの排出量が県内市町村で最も多くなっ

ている。市政モニター制度の活用を検討している。この制度は、市民の皆さまの声を広く聞き、市の事業に反映させていくため、令和4年度から開始した。ごみ減量やリサイクルに関する意識、問題点を整理して、今後の取り組みを考えている。



鳥獣対策用ドラム式箱罠



たかはしえつろう 高橋悦郎 議員

(日本共産党)



新図書館の利用増えない 利用環境の改善を大切に

問 大更駅前顔づくり施設の利用者見込み数について伺う。この施設に市立図書館も移転新設する計画であるが、新図書館の利用者見込み数を、年間2万人と説明された。現在の市立図書館のコロナ禍前の平成30年や令和元年の利用者数は2

万人を超えており、新図書館の床面積などが増えても数十億円投資する費用対効果が見込めないことになる。
教育総務課長 「顔づくり施設」へ移転する新図書館は、利用環境の改善を何より大切に考えている。
問 この施設の子育て支援

エリアの平日1日当たりの利用者見込み数は、
地域福祉課長 利用者数の目標は10名、その他にイベント広場の利用者が5名。合わせて1日平均15名程度としている。
問 現在大更駅前に、在宅で保育している方たちが利

用する「たからっこ広場」がある。この施設の利用者が「顔づくり施設」の子育て支援エリアを利用すると思われる。今の利用者数は、理由になるのか。
地域福祉課長 今年4月から8月まで、大人と児童を合わせて559人である。
問 「たからっこ広場」の

利用者は、1日5人から6人程度になる。現在の施設でも十分対応できるのではないか。新しい施設が必要ない理由になるのか。
地域福祉課長 「顔づくり施設」には、新しく乳児コーナーも整備する。ゼロ歳から利用できる施設である。



現市立図書館、周辺は公共施設が

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。

八幡平市議会活動レポート

議員全員協議会



議員全員協議会の様子

大更駅前のにぎわいを創出

8月21日に議員全員協議会を開催し、(仮称)大更駅前顔づくり施設の概略について説明があった。年間の利用者数は5万1千人を見込み、1階はエントランス・共用ホール(観光案内、物販、カフェなど)、2階は子育て支援エリア(屋根付き公園、未就学児コーナー、一時預かり保育など)、3階は図書館(企画展示スペース、閲覧スペースなど)で概算工事費は約19億9,800万円(税込み)を見込み、令和7年度の完成・運営開始を予定している。

次は 12月定例会 (予定)

期 日	内 容
12月7日(木)	議案上程 ほか
12月8日(金)	一般質問
12月9日(土)～10日(日)	休 会
12月11日(月)～12日(火)	一般質問
12月13日(木)	議案審議
12月14日(金)	休 会
12月15日(土)	委員長報告 ほか

議会を傍聴しませんか

八幡平市議会では、本会議などを誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、議会開催日に市役所3階の議会事務局までお越しください。

開催時刻は一部を除き午前10時から(終了時間は日によって異なります)です。詳しくは、八幡平市議会のホームページをご確認ください。

議会の映像を見ることができます

八幡平市議会では、議会開催日に市役所本庁舎1階のテレビでライブ中継を行っているほか、インターネット(YouTubeの八幡平市議会のチャンネル)で録画配信しています。

令和5年9月定例会の視聴回数は2,015回です。
6月定例会の視聴回数は1,194回でした。
(令和5年10月26日時点)

クイズ

問 ○の中には、どんな文字(数字)が入るでしょう？

今回の議員と語る会のテーマは「八幡平市に〇〇・提言したいこと」に決定した。

- 応募方法 答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢、「ギカイのひろば」を読んだ感想、市政や市議会への意見・要望などを必ず記入の上、はがきやファクス、電子メールでご応募ください。正解者の中から抽選で5名の方に八幡平市共通商品券1,000円分をお贈りします(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます)。
※お寄せいただいた個人情報は景品の発送以外には使いません。
- あて先 〒028-7397 八幡平市議会事務局 議会だより 係
FAX: 0195-74-2105 E-mail: gikai@city.hachimantai.lg.jp
- 締め切り 令和5年12月8日(金)(当日消印有効)
- 前回(No.72)の正解 鬼清水(球技場)
応募者 16人 正解者15人

委員会活動報告

産業民生常任委員会

- 期日 令和5年7月6日
- 場所 株式会社田山製甲所
- 内容 地域に根差したものづくりについて

地元雇用の女性が活躍する企業



製造工程の説明を受けている様子

(株)田山製甲所は、リーガルコーポレーションの製造事業所の1つである岩手製靴のアップパー(靴の甲部分)製造供給部門として、昭和48年2月の創立以来、田山地区で製造を続けている。責任者は男性だが、従業員22名は地元田山・安代地区の女性となっている。繊細かつ根気のいる作業のため、女性が向いており、プライドを持って丁寧な仕事をしていた。関係者からは、「地元の人材に恵まれ、精度の高い製品を作ることができているが、従業員の高齢化で、人材の確保・技術の継承が課題であり、非常に困っている」とのことである。

議会運営委員会

- 期日 令和5年7月18日～20日
- 場所 北海道夕張郡栗山町、松前郡福島町
- 内容 他市町議会の議会運営について調査

議会改革の先進地を視察

栗山町は、平成18年に全国で初めて議会基本条例を制定した町である。町民を対象とした議会報告会や各種団体との一般会議を開催し、町民からの提言を確実に実行するため、徹底した追跡調査を行っている。また一般質問では、町長からの反問が頻繁に行われるため、議員は高い知識が求められている。福島町は、平成11年から「市民のため」を基本理念に議会改革に取り組んでいる。議会の10日前に議案をもらい、全議員で内容を勉強し議会に臨んでいる。両町とも議員全員が、議会改革に向けた意志を共有し、取り組んでいた。



北海道夕張郡栗山町の議場(集合写真)

議会広聴広報常任委員会

- 期日 令和5年9月28日
- 場所 議事堂委員会室
- 内容 「議員と語る会」の開催を検討

今年は全会場でワークショップ開催



参加者が興味を持てるテーマを検討

令和5年度の議員と語る会の場所や日時、テーマ、内容の検討を行った。各委員からは、前年度や過去に開催した反省点、問題点などが多く出された。検討の結果、今回のテーマは「八幡平市に提案・提言したいこと」に決定した。11月18日(土)は田山コミセン、11月25日(土)は大更コミセン、田頭コミセン、12月2日(土)は寺田コミセンでそれぞれ午後2時から4時までの開催を予定している。



〒028-7397 岩手県八幡平市野駄第21地割170番地

E-mail: gikai@city.nachinantai.lg.jp



☎0195-74-2111(代表)、0195-74-2429(直通) FAX: 0195-74-2105

■発行 八幡平市議会 ■編集 八幡平市議会広報常任委員会

議会のまど

市議会に 期待すること

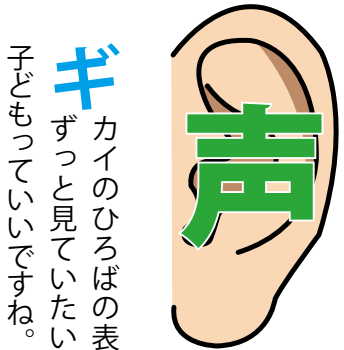


くどう さとし
工藤 哲 さん
ないした
(苗石田)

少子化と人口減少が進む中、子育て中の私は身をもってその流れを感じています。私が住んでいる田山地区では、児童数・子どもがいる世帯数ともに減少が著しく、行事などの運営も保護者が総出でやっているのが現状です。一体感があり良い部分もありますが継続していけるのかという不安も感じています。都市部へ人が流れることは仕方がないことですが、議会の皆さまには、今の子どもたちが大人になった時に「このまちで暮らしたい、いつか帰ってきたい」と思えるようなまちづくりを推進していただきたいと思います。

高 齢者が多いので、带状疱疹ワクチン接種の助成があると思います。
(中郡・53歳女性)

宮 古市では、給食費が無料になったそうです。子育て支援に手厚い市は、イメージがアップしていると思います。
(下町三区・41歳女性)



クイズで寄せられた意見などを紹介します。

大 館で仕事をしています。実家は連休のみです。離れて居心地がいいと思います。
(川原目・21歳女性)

ギ カイのひろばの表紙をずっと見ていたいです。子どもってすごいですね。
(向村・77歳女性)

顔 づくり施設を楽しみにしています。ファーストフード店を誘致してほしいです。
(北村・59歳男性)

請 願の記事を読みました。ギカイのひろばは、事実を隠さずに載せる、信頼できる広報だと思います。
(浜川開拓・36歳女性)

声 の「閲覧板のデジタル化」に、思わず「本当にそれ」と強く共感しました。
(高宮・41歳女性)

保育園紹介



東慈寺保育園
父母の会副会長
はなざき けいこ
花崎 恵子さん

東 慈寺保育園は、豊かな自然に囲まれ、昭和36年の開園以来、地域に根差し、皆さんに見守られる中、子どもたちの元気な声が響く保育園です。先生方の優しさと元気が、日々の保育に生かされています。園では、さまざまな行事や日常生活を通じて、優しく思いやりのある、笑顔が素敵な子どもたちがたくさん育っています。

令和5年第3回定例会 傍聴者数

延べ94人

市議会ホームページにアクセスを

八幡平市議会のホームページには、はちまんたい議会だよりのほか、議会日程(会期日程、一般質問の通告一覧)や議決結果、会議録(キーワード検索できます)などを掲載しています。ご覧ください。

※はちまんたい議会だより「ギカイのひろば」No.73(令和5年11月9日発行)の印刷経費は1部54.56円(税抜)、発行部数は9,750部です。